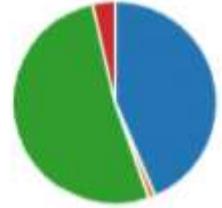


京丹後市中学校部活動に関するアンケート結果(小学校保護者):195人回答

1 京丹後市の中学校では、全員が部活動に参加することとしている。もし、全員参加でなくなった場合、加入させるか

● 加入させたい	85
● 加入させたくない	2
● 本人に任せる	101
● その他	7



2 「加入させたくない」の理由(複数回答可)

- ・部活動の時間を勉強にあてさせたい 1
- ・部活動の時間を家族との時間にあてさせたい 1

3 休日の部活動を地域が担うこと(理由と傾向)

● 賛成	86
● 反対	14
● わからない	95



(1) 加入の意向

ア 加入させたい

多数の回答者が部活動への参加を望んでいる。部活動が子どもたちにとって重要な経験の場であり、成長に寄与するとの認識が強いことを示している。

イ 本人に任せる

多くの親が子どもの意思を尊重し、参加の判断を本人に任せるべきだと考えている。子どもたちが自主的に興味を持って活動に参加することの重要性を反映している。

(2) 部活動の休日移行に対する意見

ア 賛成意見

①教員の負担軽減:教員の労働負担を減らし、彼らが休暇を確保できるようにするため、部活動の休日移行に賛成する意見が多く見られる。

②専門的指導:地域の専門的な指導者による指導が子どもたちの技術向上に役立つとの意見も多い。

③地域交流:地域の方々と関わることで、子どもたちの視野が広がると考える意見もある。

イ 反対意見

①責任の所在:問題が発生した際の責任の所在が不明確であることに対する不安が見られる。

②送迎の負担:保護者が送迎しなければならないことが負担になるとの意見もある。

③部活動の一貫性:平日と休日で指導者が異なる場合、指導内容の一貫性が保たれないのではないかと懸念もある。

ウ わからない意見の理由

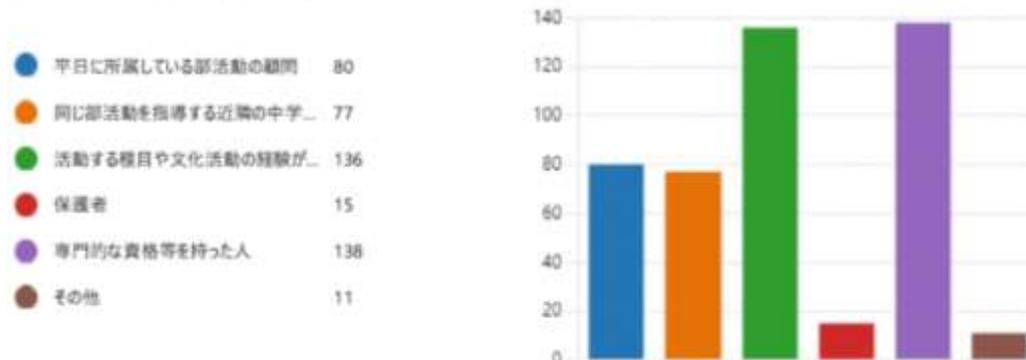
①具体的な計画の不明確さ:地域がどのように部活動を担うのか具体的な計画が不明であるため、判断が難しいとの意見が多い。

②指導者の質:地域の指導者の質や経験に対する不安も一因となっている。

4 休日の部活動が学校の部活動でなくなり、地域移行した場合に加入させたいか



5 地域移行した場合、どんな指導者がよいか



6 京丹後市で部活動を地域に移行する場合、どのような形が良い(持続可能)と考えるか

(1) 放課後と休日の分離

平日は学校で部活動を行い、休日や長期休暇は地域のクラブに参加する。休日の活動は希望者のみで有料制を導入する案が多い。

(2) 子ども主体の活動

子どもたち自身で練習メニューを考え、実行することで自立性を促す。指導者は試合やメンバー決めの時のみ関与するという意見もある。

(3) 教員の負担軽減

教員の負担を減らすために地域のクラブや専門家に指導を委託する。ただし、完全に教員以外に委託するのは難しいとの懸念もあり、教員にも適切な手当を支給する必要があるとの意見もある。

(4) 専門性の確保

経験のある指導者や大学生を活用し、専門性の高い指導を提供することが求められている。また、地域の指導者への報酬も必要。

(5) 地域との連携

地域のクラブや活動団体との連携を強化し、合同練習などを通じて広範な参加を促す。保護者や地域の協力も不可欠。

(6) 送迎の問題

特に交通手段が限られている地域では送迎の問題が指摘されている。自転車での移動が困難な地域では、バスやスクールバスの運行が必要。

(7) 部活動の自由参加

部活動の参加を強制せず、自由参加とすることで多様なニーズに対応することが重要。また、部活動に参加しない選択肢も尊重されるべきとの意見がある。

(8) 複数の指導者体制

負担を分散するために複数の指導者を配置し、ゆとりをもった指導体制を確立することが望まれている。